



会長	阿部賢悟	幹事	遠藤光則	会報	飯塚仁哉	江川元徳	渡辺光悦	布施孝尚
例会場	サンシャインプラザ21 ☎22-8988							
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30							
事務所	サンシャインプラザ21 ☎22-8988							

第2271回例会 2010. 9. 9 No.10

本日の出席率

- ・本日の出席率 76%
- ・前回確定出席率 74%

ニコニコボックス

- ・阿部賢悟会長 中田男声合唱団20周年記念コンサート、盛会おめでとうございます。武川毅会員のスピーチ、よろしくをお願いします。
 - ・遠藤光則幹事 武川毅会員のスピーチに期待します。本日、早退します。
 - ・阿部泰彦会員 新会員1名推薦いたしておりますので、よろしくお願い致します。武川毅会員のスピーチご苦勞様です。
 - ・布施孝之会員 遠藤光則幹事が、来週三重県で開催される全国シニアマスターズゴルフの部に、宮城県代表選手として出場します。ご健闘をお祈りします。
 - ・村上武彦会員 佐藤幸一会員、中田男声コーラス20周年記念音楽祭、大成功おめでとうございます。ソロも大変良かったです。
 - ・長沼盛雄会員 今日は、家族の一員として永らく暮した愛犬ランの命日です。(3回目)。今日は厳やかに供養させていただきます。
 - ・鈴木彦太会員以下 武川毅会員のスピーチに期待。
佐々木崇会員 山田直志会員 佐竹孝行会員
菅原文之会員 三浦孝次郎会員 佐々木源悦会員
猪股育夫会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
高橋利光会員 小泉洋会員 二階堂敏雄会員
富士原裕子会員 武川毅会員 森田一史会員
高橋義文会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 阿部賢悟会長

続いておりました暑さも一段落し、ほっと一息ついているところです。会員の皆様におかれましてもほっとしておられるのではないかと考えております。

先週の新世代委員会フォーラム、佐藤敬喜委員長ご苦勞様でした。四大奉仕から五大奉仕になり、新世代奉仕がこれまで以上に重要視された位置付けとなっております。フォーラムの中で、インターアクトの件など将来を見据えた計画が大事と思いました。これからの新世代委員会の活躍を期待しております。

先週の理事会に、阿部泰彦会員増強委員長より、新入会員の推薦があり理事会にて承認されました。阿部泰彦委員長のご尽力により今年度に入り会員増強が進んでおりますこと感謝申し上げます。皆様もよろしくお祈り申し上げます。

創立10周年記念事業にて設置しました、合同庁舎前の時計塔修復についてですが、理事会で一度パスト会長会に図ってご意見を頂戴し、それを受けまして会員のご協力をいただきながら進めていくことになりましたので、パスト会長の方々よろしくご指導の程おねがい申し上げます。

9月5日(日)、登米祝祭劇場に於きまして、当クラブの佐藤幸一会員が代表を務めます「中田男声合唱団」の20周年記念コンサートがありました。私も初めて聞いて参りました。非常に心に残る、癒される、そうしたコンサートでございました。多くのロータリアンの顔が客席にありました。更に、高橋義文会員の奥様も「芙蓉コール」女声合唱の指揮、合同演奏では合唱に加わり、コンサートを盛り上げておられました。佐藤幸一会員には、これからも頑張ってください、30周年、40周年と更なる発展を祈念致します。

今日は、南方庁舎に於きまして「環境市民会議」が開催されます。山田直志環境保全委員長と出席して参ります。12日(日)には、仙台にて米山記念奨学会研修会

が開催されますので、佐々木功一副委員長と出席致します。

幹事報告 遠藤光則幹事

- ・ガバナー事務所より
 1. 2011~2012年度派遣、長期交換留学生募集要項
 2. 2012~2013年度ロータリー財団国際親善奨学金の募集について
- ・気仙沼RCより 創立50周年記念誌が届く
- ・ロータリーの友事務所より ロータリーの友英語版の案内
- ・川崎大師RCより、会員名簿が届く
- ・迫町白鳥ガン愛護会より 第49回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン案内
- ・佐沼中央商店会より 第14回秋のフリーマーケット出店者募集案内

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会 (熊谷敏明委員長)
 1. 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンのお知らせ
日時 9月23日(木) 秋分の日 8:30~
場所 迫町サンクチュアリーセンター
※小雨決行、雨天の時は9月26日
 2. 秋のフリーマーケット出店のお知らせ
日時 10月17日(日) 9:00~15:30
場所 中江公園
※商品の提供をお願いします。詳細は後日
- ・新世代奉仕委員会 (佐藤敬喜委員長)
 - 剣道大会と野球大会の開催日のお知らせ
 - ・登米市少年少女剣道大会 10月9日(土)
 - ・登米市少年少女野球大会 11月3日(水)
 - ※詳細は後日お知らせ致します。

今週のスピーチ

武川 毅会員

今のことではありませんが、かなり前に子供の国際交流活動のボランティアをやっておりましたので、その話をしてみたいと思います。

東北地域ではありませんが、関東を中心にやっている団体がありまして、設立は1957年で「国際子供村」という組織で運営しております。内容ですが、世界中の11歳の子供が、どこかの小学校を借り切って1ヶ月間、遊んだり、コミュニケーションしたりして過ごすというプログラムです。11歳というと親もとを離れて行動するという事は、とても心配なのですが、それを始めた人の話ですと、やっと親から離れて一人で行動出来るという年齢で、中学生や高校生になると逆な面で、例えば、彼女、彼氏という関係が出来てきて複雑な問題も出てくるので、それ以前の11歳位の子供ですと、そういうことに関係なく国際交流が出来るといってやっておりました。

開催国は20数ヶ国あり、男女それぞれ2名ずつ、そして英語が堪能な21歳以上のお兄さん、お姉さんの人がついて一つの組織を作ってやって来るのです

が、やはり、自分の子供を1ヶ月位離して行動させるのはかなり心配なものです。そういう訳で、子供の方は参加したいのですが、親の方がなかなか出せないという状況で、年間に20人位しか派遣出来ません。その意味で知名度も低く、皆さんには分からないのではと思っています。

うちの子供も11歳になった時、1ヶ月オーストラリアに出してやりました。かなり心配でした。世界中の子供たちが12カ国から女の子、男の子2名ずつ、あとはリーダー1名の5人のチームが集まって、一ヶ所で寝食共にしながら過ごすというものです。日本の子供とタイの子供、フランスの子供以外は全部片言でも英語が話せます。そのため、日本とタイの子供は孤立してしまいます。ですから、英語がしゃべれなくて交流が出来ないということは、子供にとってもものすごい葛藤なのです。英語がしゃべられない大変さが身をもって分かったと思います。ヨーロッパの参加者が多いものから、黄色人種と白人との差がとてもあり、ドイツやフランスの子供達は、11歳にして自分たちは白人なのだという意識が強くて、アジア人であるということを肌身で感じてきたのではないかと思います。

行って一週間位は、一人一人ホームシックで大変です。ほんとうに自分でこらえながら一週間過ごす。その後は、言葉は通じなくても色々やりとりが出来るので、友達が一人、二人と出来てきます。その中で言葉は通じないながらも遊びながら友達も増えてきて、2週間目位から楽しくてしょうがなくなってきます。3週間目位からは盛り上がり、日本の紹介などをしながら、ほんとうに国際交流を深めていくのですが、日本を紹介するという事は、なかなか大変なことです。何を教えたらよいか、自分達が遊びの中でするのですが、11歳の子供にとっては日本の紹介はほんとうに難しいことです。習字をして見せたり、折り紙をして見せたり、色々やって見せるのですが、最初のうちはもの珍しそうに見ているだけです。しかし、段々と交流し打ちとけてくるようになってくると、変わってくるようです。最後の週、4週間目位は、ほんとうに仲良くなり帰りたくないと言いはじまり、最後は泣く泣く帰って来るような、別れたくないようで、言葉は通じなくても、11歳位の子供は世界中どこでも変わらないというような感じで過ごしてきました。

一番感じたのは、一緒に行った東京の男の子2人ですが、行く前と、帰って来た時の顔付き目付きが全く違っていったことです。ほんとうに2~3歳位、歳をとったのではないかなと思う位、精神的にたくましくなって帰ってくるんですね。あれを見ると、ほんとうに小さい子には旅をというのが、分かるような気がしました。女の子も変わったとは思いますが、うちの子に関しては、あまりわかりませんでした。

外国の子供達は、日本の子供達と比べてかなりテンションが高く、一緒に遊んでいるとハイになって、帰って来るとそのフォローが大変で、興奮状態をおさめるのに1ヶ月位かかります。